

## News Release

報道関係者各位

平成 31 年 2 月 8 日

# フィリピン パーペチュアルヘルプ大学と共同研究 道徳に関する科学的・学問的研究を進める

国際学術会議開催 平成 31 年 2 月 16 日(土)パーペチュアルヘルプ大学にて

麗澤大学(千葉県柏市/学長：中山理)とフィリピンにあるパーペチュアルヘルプ大学は、平成 31 年 2 月 16 日(土)に第 2 回国際学術会議を開催します。

今回の国際学術会議のテーマは「感謝表現の比較研究」です。麗澤大学とパーペチュアルヘルプ大学は、どうしたら個人に感謝の心が生まれるのか、教育現場でどのような感謝介入をすれば、学生たちに「ありがとう」という気持ちが芽生えるのかというテーマを、学問的に共同研究しています。現代のポジティブ心理学でも、感謝と個人の主観的な幸福感(ウェル・ビーイング)の間には、因果関係があることが認められています。また単に感謝感情を抱くだけではなく、それに感謝行動が伴わないと永続的な幸福感は生まれないとされています。しかしその一方で、欧米人と日本人の感謝感情は違うのではないかという疑問もある中、アジアと欧米の文化が融合したフィリピンと共同研究するという点が、今回の特色です。

麗澤大学は、パーペチュアルヘルプ大学の博士が麗澤大学訪問の際に、創立者廣池千九郎の道徳科学の研究に感銘を受け、学術共同研究を行いたいというご要望をいただいたことをきっかけに、平成 26 年に包括協定を締結し、同大学にて継続的に講演会やフォーラムを開催して参りました。パーペチュアルヘルプ大学は、フィリピンの大学トップ 5%に入る有名校で、約 2 千人の教職員と約 2 万人の学生が学ぶ南メトロマニラの最大規模の総合私立大学です。その後、両大学の学術的・教育的コラボレーションが順調に進展した結果、平成 30 年 3 月からは、道徳教育に対する共同プロジェクトを始動させるにいたしました。プロジェクトのテーマは「道徳」に関する科学的・学問的研究ですが、特に麗澤大学の創立者廣池千九郎の道徳思想の視点から、現代社会における道徳・倫理問題に関する研究を進めています。

### ■ 第 2 回国際学術会議 「感謝表現の比較研究」概要

日程：平成 31 年 2 月 16 日(土)

場所：パーペチュアルヘルプ大学(フィリピン)

対象：パーペチュアルヘルプ大学 大学院生・学生・教員

登壇者(麗澤大学)：中山 理(なかやま おさむ) 特任教授・学長、専門分野：英文学・道徳思想など  
堀内 一史(ほりうち かずのぶ) 教授・副学長、専門分野：宗教社会学など  
宮下 和大(みやした かずひろ) 准教授、専門分野：中国思想史

### 【麗澤大学について】

麗澤大学は昭和 10 年、創立者の廣池千九郎(法学博士)が「道徳科学専攻塾」を現在のキャンパス(千葉県柏市光ヶ丘)に開塾したことから始まります。心豊かな人間性を養い、国際社会に貢献できる人材の育成をめざし、今では大学・高校・中学・幼稚園を開設しています。また留学生の受け入れも積極的に行っており、キャンパスには世界約 30 の国・地域から留学生が集まり、さまざまな言語が飛び交っています。

### 【本件に関するお問合せ先】

麗澤大学 URL: <http://www.reitaku-u.ac.jp/> 〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1

入試広報グループ担当：川原(かわはら) Email: [pr@reitaku-u.ac.jp](mailto:pr@reitaku-u.ac.jp)

TEL: 04-7173-3030 FAX: 04-7173-3585